

Rétrospective célébrant le 40e
anniversaire de la mort de

清水多嘉示《八月》1933年頃 清水多嘉示遺族蔵/ハケ岳美術館寄託作品

SHIMIDZU

Peinture
de la vie
et la constructivité

没後40年

清水多嘉示

生命と構築性の絵画

第2期 諏訪時代と帰国後 昭和20年間の絵画

主催：ハケ岳美術館、原村、原村教育委員会

協力：青山敏子（清水多嘉示遺族）、

武蔵野美術大学（清水多嘉示共同研究）

優美堂再生プロジェクト実行委員会

／ 3331 Arts Chiyoda、河西画廊

協賛：スワテック建設株式会社、諏訪信用金庫
たてしな自由農園

2021

9/18
SAT

12/5
SUN

会期中無休

開館時間

9:00 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

入館料

一般高校生以上
510円(460円)
小中学生
250円(200円)
※O内は20名以上
の団体料金
諏訪6市町村の
小中学生無料

1. 講座 清水多嘉示の芸術

第1回 武井 敏（礪山美術館学芸員）
「フランス近代芸術と信州の芸術家たち
—清水多嘉示の芸術を育んだ土壌—」

9月18日（土）

第2回 黒川 弘毅（武蔵野美術大学教授）
「清水多嘉示の人体デッサンと彫刻」

10月9日（土）

第3回 青山敏子（清水多嘉示三女）
「清水多嘉示のみていた風景」

10月24日（日）

第4回 井上 由理（近代彫刻研究家）
「清水多嘉示とマチス 彫刻と絵画の関係」

11月3日（水・祝）

第5回 弘中智子（板橋区立美術館学芸員）
「帝国美術学校時代の清水とアヴァンギャ
ルドの系譜」 11月27日（土）

2. ブロンズクリーニング 10年記念イベント
「ハケ岳美術館ブロンズクリーニングの10年
を振り返って」

【対談】黒川弘毅（武蔵野美術大学教授）

小泉悦夫（ハケ岳美術館館長）

10月10日（日）

3. 学芸員によるギャラリートーク

9月25日（土）/ 10月29日（金）

4. ワークショップ 白樺板に描こう

9月23日（木・祝）/ 11月21日（日）

ハケ岳美術館（原村歴史民俗資料館）

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611

TEL/FAX: 0266-74-2701

E-mail: info@yatsubi.com

https://yatsubi.com/

第2期 諏訪時代と帰国後 昭和20年間の絵画



フランスから帰国後（1930年代）の清水多嘉示



3



4



5



6

ハケ岳美術館では清水多嘉示（1897-1981）の没後40年を記念し、清水多嘉示の絵画展を開催いたします。

清水多嘉示は、画家として渡仏した1923年から1940年代前半までの20年の間、絵画と彫刻の両ジャンルで作品発表を続けました。帰国後は、帝国美術学校（現・武蔵野美術大学）の創設に加わり西洋画科で教授を務めながら、帝展や国画会、新文展で活躍し新文展最後の出品作である《廬山》（1944年）を戦時中に発表しています。1950～70年代は、代表作となる《みどりのリズム》（1951年）の彫刻制作や国際会議への出席を機に、日本を代表する彫刻家として活躍し、次第に制作の軸を彫刻へと移します。しかし、デッサンを重要視した清水は、生涯を通して多くの優れた絵画作品を残していました。

本展第2期では、清水の1. フランス留学から日本に帰国後の1929～40年代の油彩2. 彫刻への道を突き進んだ戦後50～70年代の人体デッサンやスケッチ、3. 渡仏以前の諏訪時代に描かれた油彩を中心に、日本で制作された未開作品を含む約80点の絵画を紹介し、その芸術にやどる構築性と生命観の軌跡をたどります。

清水芸術の揺籃期の諏訪とフランスから帰国後に再び日本で描いた数々の絵画をお楽しみください。

没後40年 清水多嘉示 2021 9.18(土)～12.5(日) 生命と構築性の絵画

Event

1. 講座 清水多嘉示の芸術

第1回 9月18日（土）
「フランス近代芸術と信州の芸術家たち
—清水多嘉示の芸術を育んだ土壌—
講師：武井 敏（礪山美術館学芸員）」

第2回 10月9日（土）
「清水多嘉示の人体デッサンと彫刻」
講師：黒川 弘毅（武蔵野美術大学教授）

第3回 10月24日（日）
「清水多嘉示のみた風景」
講師：青山 敏子（清水多嘉示三女）

第4回 11月3日（水・祝）
「清水多嘉示とマチス 彫刻と絵画の関係」
講師：井上 由理（近代彫刻研究家
/ ハケ岳美術館特別研究員）

第5回 11月27日（土）
「帝国美術学校時代の清水とアバンギャルドの系譜」
講師：弘中 智子（板橋区立美術館学芸員）

※各講座とも要予約
時間：13：30～15：00
参加費：無 料（入館料別途）
会場：ハケ岳美術館 企画展示室

2. ブロンズクリーニング 10年記念イベント

10月10日（日）
①スライドトーク 10：00～10：30
「ハケ岳美術館 ブロンズクリーニング
の10年を振り返って」
黒川弘毅（武蔵野美術大学教授）
小泉悦夫（ハケ岳美術館館長）
②ブロンズクリーニング 10：40～12：00

参加費：無料 会場：ハケ岳美術館
※ご予約の上10時までに受付にお越し下さい

3. 学芸員によるギャラリートーク

9月25日（土）/10月29日（金）
ハケ岳美術館学芸員の解説つきで会場を見学

会場：ハケ岳美術館 企画展示室
参加費：無料（入館料別途）
時間：13：30～14：30

4. ペイントワークショップ 白樺板に描こう カラフル・ドアプレート

9月23日（木・祝）/11月21日（日）
館内の作品を模写したり、好きな絵を板に描いて
小さなイーゼル付のプレートをつくります

参加費：300円（入館料別途）/要予約
各回とも 時間：13：30～15：30

- 1《題不詳（白いドレスの少女）》1928年以降（F10/ OP575）遺族蔵/武蔵野美術大学管理作品
- 2《題不詳（風景）》年代不詳（F8/ OP285）遺族蔵/武蔵野美術大学管理作品
- 3《題不詳（白い服の女）》1928年以降（F8/ OP577）遺族蔵/武蔵野美術大学管理作品
- 4《題不詳（画を描く女）》1928年以降（F10/ OP575）遺族蔵/武蔵野美術大学管理作品
- 5《母子》1924-25年（F6/ OP467）ハケ岳美術館蔵
- 6《題不詳（風景）》1926-27年（F2/ OP585）遺族蔵/武蔵野美術大学管理作品
- 7《題不詳（立木）》1923-28年（F4/ OP649）遺族蔵/武蔵野美術大学
- 8《題不詳（風景）》1950年代（F8/ OP607）遺族蔵/武蔵野美術大学管理作品

Peinture de la vie et la constructivité

ハケ岳美術館 原村歴史民俗資料館

ハケ岳美術館の建物は、文化勲章受章者・村野藤吾の設計によるもので、日本建築家協会25年賞を受賞しました。曲線を用いたドーム型で天井はレースカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いたやわらかな明かりのなかで、作品をゆったりとご覧いただけます

◎常設展

美術作品：清水多嘉示（彫刻・絵画）、津金雀仙（書）
考古学資料：国指定阿久遺跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器を展示

◎ご利用案内

開館時間 9：00～17：00（最終入館は16：30まで）
休館日 年末年始、臨時休館を除き年中無休
入館料 一般（高校生以上）510円（460円）、小中学生250円（200円）
※（）内は20名以上の団体料金。

諏訪6市町村の小中学生は図書カード、学生証などの提示により無料で入館できます

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611 TEL/FAX 0266-74-2701
E-mail: info@yatsubi.com <https://yatsubi.com/>

